



ありがとう

副校長 棗 まゆみ

ありがとう

谷川俊太郎(たにかわ しゅんたろう)

空 ありがとう

今日も私の上に来てくれて

曇っていても分かるよ

宇宙へと青くひろがっているのが

花 ありがとう

今日も咲いていてくれて

明日は散ってしまうかもしれない

でも匂いももう私の一部

お母さん ありがとう

私を生んでくれて

口に出すのは照れくさいから

一度っきりしか言わないけど

でも誰だろう 何だろう

私に私をくれたのは?

限りない世界に向かって私は呟く

私 ありがとう

※童話屋・谷川俊太郎事務所に掲載確認済

この詩を2か月ほど前に知り、「詩」と「ありがとう」という言葉のもつ力について、深く考えさせられました。自分がしてもらったことだけに「ありがとう」ではなく、どんなものに対しても畏敬の念をもち、そして、自分自身にも「ありがとう」と言える。ちょっと見方を変えてみる。そうすると、いろいろなことに対しての感じ方や考え方も変わってくるのだらうと感じました。子供たちにも、いろいろな詩を読むことを通して、言葉の力を感じてほしいと思っています。

「おはよう」や「さようなら」という挨拶は子供たちからたくさん聞こえてきます。でも「こんにちは」や「ありがとう」という言葉は、意識しないと使う機会が少ない言葉なのか、あまり聞こえてきません。気持ちはあっても、言葉に出さないと相手には伝わらないことも往々にしてあります。ちょっとしたときでも声に出して言葉にしたり、会釈などができたりすると、お互いがとても気持ちよく過ごせるようになります。学校でも挨拶や言葉の指導等を行っていますが、御家庭でも、子供たちに自分から挨拶したり行動したりできるよう、お声掛けをお願いします。子供たちが「自分からできる習慣」を身に付け、よりよりコミュニケーションがとれるようになることを願っています。

2月の生活目標「健康で安全な生活をしよう」

生活指導部

今月の目標は、「健康で安全な生活をしよう」です。寒さもピークを迎え、日に日に厳しくなっています。しかし、「子供は風の子」という言葉の通り、休み時間には、校庭で元気に遊ぶ子供たちの声が聞こえてきます。その一方、校舎内でも上着を脱がずに過ごしていたり、ネックウォーマーなどの防寒具を着けたまま授業を受けているお子さんを見かけたりすることがあります。中に着ている衣服で調節できるよう、ご家庭でもお声掛けをお願いします。また、風邪が流行する時期なので、お子さんが帰宅したら手洗い・うがいをするように、あわせて声を掛けてくださると幸いです。

御家庭と学校が同じ声掛けをすることで、「健康で安全な生活をしよう」とする子供たちの意識も高まっていきます。御協力をよろしくをお願いします。